

研究成果情報	畜産	18	豚	飼養管理
新技術・情報名	暑熱期の母豚に対する加水飼料の給与による繁殖性の改善		分類	②

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

暑熱期における母豚の繁殖性を改善するために、加水飼料を母豚に給与することが有効であることを明らかにした。

- (1) 飼料摂取量は、飼料へ水を加えることにより嗜好性が良くなり、リキッド飼料(5.51kg) > ウエット飼料(4.89kg) > ドライ飼料(4.22kg)の順となる。
- (2) 総飲水量は、ドライ区(23.6ℓ)・ウエット区(24.6ℓ)・リキッド区(25.3ℓ)で、飼料への加水の有無に関わらず差はない。
- (3) 子豚の発育は、子豚の生時体重による影響が大きいため加水による効果は明らかでない。
- (4) ウエット及びリキッド飼料を給与するとドライ飼料給与より母豚の体重減少率は約50%小さくなり、発情再帰日数は5～6日で早くなる傾向にある。

2) 技術・情報の適応効果

暑熱期の母豚の繁殖性向上

3) 適応範囲

繁殖農家，一貫経営農家

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

加水飼料（ウエット、リキッド）は、暑熱期では変質しやすいので1日3回給与する。

2. 具体的データ

表1 飼料への加水割合

飼料：水	
ドライ区	1：0
ウエット区	1：1
リキッド区	1：2

表2 母豚飼料給与量

分娩前	2 kg
分娩～2日	1
3日～4日	2
5日～6日	3
7日～21日(離乳)	6

表3 母豚の飼料摂取量、飲水量及び繁殖成績 (平成3年)

項目	試験区	ドライ区	ウエット区	リキッド区
供試頭数	(頭)	5	5	5
飼料摂取量	(kg/日)	4.22 ^a	4.89 ^{a,b}	5.51 ^b
総飲水量	(g/日)	23.6	24.6(19.7)	25.3(14.3)
生産子数	(頭)	9.4	10.4	8.6
生時子豚平均体重	(kg)	1.57	1.36	1.40
離乳	"	(kg) 5.53	4.76	4.99
子豚体重の総増加量	(kg)	173.6	140.0	150.9
母豚体重減少率	(%)	8.30	4.39	4.27
発情再帰日数	(日)	9.5	6.0	5.5

注) ① 異符号間は5%水準で有意
 ② 総飲水量のカッコ内は給水カップによる飲水量。
 ③ 飼料摂取量と飲水量は分娩7日～離乳までの平均値
 ④ 子豚体重の総増加量は離乳時総子豚体重－生時総子豚体重
 ⑤ 発情再帰日数は離乳からの日数

3. その他特記事項

担当部科室名：畜産研究所 中小家畜部 養豚研究室

研究担当者名：佐藤充徳 投野和彦 大和碩哉

研究課題名：飼料給与形態の改善

期 間：平成3年～平成4年 予算区分：経常

既発表論文・資料名等：平成3年度畜産関係試験成績書

取りまとめ責任者名：佐藤充徳